

第4回定例会の 主な日程

令和元年第4回定例会は、次の会期日程で開催されました。

12月4日(水)	本会 議	(開会、知事提出議案説明)
12月9日(月)	本会 議	(一般質問・質疑)
10日(火)	本会 議	(一般質問・質疑)
11日(水)	本会 議	(一般質問・質疑)
12月13日(金)	常任委員会	
12月17日(火)	決算特別委員会	
12月18日(水)	産業の育成・振興に関する調査特別委員会	
12月20日(金)	本会 議	(委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

●質問者

12月9日(月)	田口 伸一 議員 (いばらき自民党)
12月10日(火)	鈴木 定幸 議員 (いばらき自民党)
12月11日(水)	高安 博明 議員 (県民フォーラム)
12月11日(水)	金子 晃久 議員 (いばらき自民党)
12月11日(水)	西野 一也 議員 (いばらき自民党)

議場での質問の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます。



議員 田口 伸一
いばらき自民党 鹿嶋市選出
方式 分割

二〇二〇年東京オリンピックに向けた警備対策

議員 来年七月二十三日から、茨城カシマスタジアムでオリンピックのサッカー競技が開催される。テロやサイバー攻撃に対し、どのように警備対策に取り組むのか。
 警察本部長 テロなどの対策に万全を期すため、関係機関や民間事業者などと連携した水際対策や警戒態勢の強化を図る。また、緊急事態に備え、合同訓練などで対処能力の向上に努める。さらに、対策に対する県民の理解と協力を得るため、積極的に情報発信する。



オリンピックの成功に向け万全の警備対策を(サッカー競技会場の茨城カシマスタジアム)

農業用ハウスの台風被害に対する支援と今後の災害対応

議員 台風第十五号などで被害を受けた農業用ハウスに対し、どのように支援するのか。また、災害の被害防止や事後対応について、農業者をどのように支援するのか。
 農林水産部長 再建・修繕や撤去の費用について、市町村と協調し、国の補助に上乗せして支援する。また、事前の備えや被災後の対応を時系列にまとめたマニュアルを作成・周知し、現場で活用を図る。
 (ほかに、鹿行地域の企業立地政策、県道銚田鹿嶋線の雨水対策なども質問)



議員 本澤 徹
無所属 銚田市・茨城町・大洗町選出
一括方式

併設型中高一貫教育校における学校経営

議員 民間などでの管理職経験者も対象に中高一貫教育校の校長を公募するとしていたが、どのような学校経営を目指して実施するのか。
 教育長 新たな発想に基づく新しい時代の学校経営を期待し、校長には、これまでのさまざまなキャリアで培ったマネジメントのノウハウを発揮いただきたいと考え、公募とした。公募により、社会の大きな変化に的確に対応できる学校経営を進め、将来を担うたくましい子どもたちの育成に努める。



議員 村田 康成
いばらき自民党 神栖市選出
一括方式

「県民が日本一幸せな県」実現のための政策展開と予算編成の在り方

議員 私は「県民の幸せ」とは、まずは県民の「安心安全」を守ることでありと考える。知事は、県総合計画の基本理念に掲げる「県民の幸せ」をどう考え、どう政策展開、予算編成を行うのか。
 知事 私は県民が未来に希望を持ち挑戦を続けられることが「幸せ」と考える。総合計画に掲げる四つのチャレンジを一体的に押し進め、新年度予算でも特別枠を設けた。一方、大規模災害対応では国と連動し安心安全の向上を図る。



県総合計画の基本理念と4つのチャレンジ

神栖市における高校教育の課題と環境改善に向けた取り組み

議員 神栖市では、大学進学を目指す中学生ほど県外高校に進学している。今、市内三つの高校では教育環境や質の向上が必要と考える。高校教育の現状と課題をどう認識し、どう改善に取り組むのか。
 教育長 神栖市から県外高校への進学状況は認識している。市内三校では合同学習会など学力向上にも取り組んでおり、進路実績を積み上げて地域の期待にこたえていく。
 (ほかに、神栖済生会病院の医療提供体制の充実、鹿島臨海工業地帯のさらなる発展なども質問)



議員 鈴木 定幸
いばらき自民党 常陸大宮市選出
一括方式

自然災害と県内防災インフラ

議員 台風第十九号のような台風や豪雨に対抗するには、堤防や遊水地などの対策を複合的かつ迅速に整備する必要がある。自然災害から県民の生命と財産を守る防災インフラの強化にどう臨むのか。
 知事 今回の被害の甚大さを目の当たりにし、自然災害への新たな対策が必要との思いを強くした。従来型の築堤や河道拡幅に加え、遊水地や排水施設整備などあらゆる対策を総合的に検討し、強靱な県土づくりに向け全力で取り組む。



議員 村上 典男
いばらき自民党 笠間市選出
一括方式

食の安全性などに関する理解醸成

議員 遺伝子組み換え食品の表示ルールやプレハーベスト※3などの情報が知られていないように思う。消費者が、自らが望む安全・安心な食品を手にとれるよう、情報提供や理解醸成が必要だが、どう取り組むのか。
 保健福祉部長 食品衛生協会など関係団体と連携し、各地域で講習会や意見交換会を開催している。SNSなども活用するなど、食の安全に関する正確な情報がより多くの県民に提供できるよう努める。

県管理河川の維持管理

議員 常陸大宮市内での河川氾濫原因の一つに、堆積土砂による流下能力減退が挙げられる。今回の災害を機に、土砂の撤去を加速させるべきと考えますが、所見は。

土木部長 堆積土砂の撤去は短期かつ低コストで流下能力を向上させることができ、これまでも危険度の高い箇所を優先的に実施してきた。今後は、国の補助制度なども活用して予算確保に努め、河川の防災・減災対策を加速させていく。
 (ほかに、農業の多様な情報周知、有機農業の可能性なども質問)



台風第19号により氾濫した久慈川(常陸大宮市富岡地区)

県立高校の活力と魅力向上

議員 友部高校はじめ公立高校の入学者が減少している。地域高校存続には、各学校の長所を生かし、活力と魅力のある学校に変える必要があるが、どう取り組むのか。
 教育長 地域の「人財」を地域で育成することを役割の一つに位置付けた県立高等学校改革プランの理念や市町村の意見、各学校の取り組みを踏まえ、生徒一人一人の夢や希望をかなえる学校づくりへの取り組みを具体化する。
 (ほかに、ひきこもり対策、笠間地域の道路行政なども質問)



県立高校の活力と魅力向上を